【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【公開番号】特開2015-181014(P2015-181014A)
【公開日】平成27年10月15日(2015.10.15)
【年通号数】公開・登録公報2015-064
【出願番号】特願2015-92886(P2015-92886)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　21/35　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　21/44　(2013.01)
Ｈ０４Ｌ　 9/32　(2006.01)
Ｇ０９Ｃ　 1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　21/35
Ｇ０６Ｆ　21/44
Ｈ０４Ｌ　 9/00　６７３Ｄ
Ｇ０９Ｃ　 1/00　６４０Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成27年10月7日(2015.10.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１情報を取得する第１情報取得部と、
前記第１情報を用いて、データの取得に必要な鍵情報であって、かつ個人を特定不可能な第２情報を生成する第２情報生成部と、
前記第２情報を用いて、他の無線装置から送信された前記データを無線通信にて取得するデータ取得部と、を備え、
前記第１情報を取得可能な範囲は、前記データを取得可能な範囲より狭い無線装置。
【請求項２】
前記第１情報取得部は、第１ゲートを通過する際に前記第１情報を取得する請求項１に記載の無線装置。
【請求項３】
前記第２情報生成部は、前記第１情報を取得してから所定時間経過後に前記第２情報を無効にする請求項１または２に記載の無線装置。
【請求項４】
前記第２情報生成部は、前記第１ゲートの通過後に生成した前記第２情報を、第２ゲートを通過する際に無効にする請求項２に記載の無線装置。
【請求項５】
前記第１情報は、近接無線通信で取得される請求項１乃至４のいずれか１項に記載の無線装置。
【請求項６】
前記第１情報は、画像により取得される請求項１乃至４のいずれか１項に記載の無線装置。
【請求項７】

前記無線通信は、無線ＬＡＮ、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ（登録商標）、セルラー、またはＷｉＭＡＸである請求項１乃至６のいずれか１項に記載の無線装置。
【請求項８】
他の無線装置に対して第１情報を送信する第１情報送信部と、
前記第１情報を用いて、データを送信するのに必要で、かつ個人を特定不可能な第２情報を生成する第２情報生成部と、
前記第２情報を用いて、無線通信にて前記データを送信するデータ送信部と、を備え、
前記第１情報を送信する範囲は、前記データを送信する範囲より狭い無線通信装置。
【請求項９】
前記第１情報送信部は、前記他の無線装置の所持者が第１ゲートを通過する際に前記第１情報を送信する請求項８に記載の無線装置。
【請求項１０】
前記第２情報生成部は、前記第１情報を送信してから所定時間経過後に前記第２情報を無効にする請求項８または９に記載の無線装置。
【請求項１１】
前記第２情報生成部は、前記他の無線装置の所持者が前記第１ゲートを通過した後に生成した前記第２情報を、前記所持者が第２ゲートを通過する際に無効にする請求項９に記載の無線装置。
【請求項１２】
前記第１情報は、近接無線通信で取得される請求項８乃至１１のいずれか１項に記載の無線装置。
【請求項１３】
前記第１情報は、画像により取得される請求項８乃至１２のいずれか１項に記載の無線装置。
【請求項１４】
前記無線通信は、無線ＬＡＮ、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ（登録商標）、セルラー、またはＷｉＭＡＸである請求項８乃至１３のいずれか１項に記載の無線装置。
【請求項１５】
第１無線通信により第１情報を取得し、
前記第１情報を用いて、データの取得に必要な鍵情報であって、かつ個人を特定不可能な第２情報を生成し、
前記第２情報を用いて、他の無線装置から送信された前記データを、前記第１無線通信よりも通信範囲の狭い第２無線通信にて取得する無線通信方法。
【請求項１６】
他の無線装置に対して第１情報を送信し、
前記第１情報を用いて、データを送信するのに必要で、かつ個人を特定不可能な第２情報を生成し、
前記第２情報を用いて、無線通信にて前記データを送信し、
前記第１情報を送信する範囲は、前記データを送信する範囲より狭い無線通信方法。